

# 第10章 学力向上に向けた施策取組結果等の状況

1

学力向上に向けた県の施策における取組等の状況

【関連：第1章P.5～、第11章P.145～】

## 1 学校の組織的な取組

(1) 全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック、ワークシートの3点セットの活用について

項目	指標	結果
3点セット活用	活用校と未活用校での 全国平均正答率との差	<ul style="list-style-type: none"> <li>活用校（H26：約7割）では、小中学校とも全教科（特に小中とも国B）で、<u>全国平均との差の改善が大きい傾向</u>。</li> <li>（例）小算A：活 1.9（未 1.4） 小国B：活 3.4（未 3.0） 中国B：活 0.8（未-0.02）</li> </ul>
みえスタディ・チェック実施	実施校と未実施校での 全国平均正答率との差	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施校（H26：約8割）では、大半の教科（特に中学校数学）で、<u>全国平均との差の改善が大きい傾向</u>。</li> <li>（例）小国A：実 0.16（未-1.2） 小国B：実 0.13（未 1.2） 中数B：実 0.53（未-2.0）</li> </ul>

(2) 学校訪問の取組について

項目	指標	結果
小学校 257 校訪問	訪問校と未訪問校での 全国平均正答率との差	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問校（H26：小学校の約2/3）では、全教科で、<u>全国平均との差の改善が大きい傾向</u>。</li> <li>（例）小国A：訪 1.2（未 0.8） 小算B：訪 1.9（未 0.6）</li> </ul>

(3) めあて・振り返る活動の設定（ノート指導を含む）、校長の見回り等組織的な取組について

項目	指標	結果
授業でのめあての提示・振り返る活動の設定 【児童質問紙（小） ・学校質問紙（小）】	肯定的な回答と平均正答率	・小学校では、全国、三重県ともに、めあて・振り返りの指導や受止めに <u>肯定的な回答</u> を行っている学校・児童ほど、 <u>全教科で、平均正答率が高い傾向</u> 。
めあてとまとめのノート記載 （※H27 新規追加） 【同上】	同上	・本年度から新たに質問項目に加わった、めあて・振り返りを「ノートに書いていた（書くよう指導した）」については、上記にもまして、 <u>肯定的回答と平均正答率との間に関係性が高い傾向</u> 。 （参考）めあて・振り返りノート記載 小：児童 83.1（全国 87.1） 学校 87.2（全国 94.1） 中：生徒 64.4（全国 73.7） 学校 67.7（全国 81.9）
校長の見回り 【学校質問紙（小）】	実施頻度と平均正答率	・全国の小学校では、実施頻度に応じて、全教科で平均正答率が高い傾向。三重県では、 <u>実施頻度は大幅に改善したものの、平均正答率との関連は必ずしも大きくないことから、質的充実を図ることが必要</u> 。

(4) 指導方法について

① 発展的な学習の指導等について

項目	指標	結果
発展的な学習の指導 （小・国、算数・数学） 【学校質問紙】	回答ごとの平均正答率	・三重県では、左記項目について、 <u>実施回数が多いほど平均正答率が高い傾向</u> 。
補足的な学習の指導 （数学） 【学校質問紙（中）】		・なお、習熟度別少人数指導については、実施率が1割（全国的にも2～3割）前後に留まること等もあり、必ずしも明確な傾向が見られず（特に小学校）、今後の検討課題。

## ② 実践推進校との関係について

項目	指標	結果
実践推進校 100 校	指定前（H26 調査）と指定後（H27 調査）の平均正答率の全国平均との差	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定校では、課題を抱えるところが少なくない中、全国平均との差が全教科で改善し、<u>特に算数・数学では、差の改善が大きい傾向。</u></li> <li>（例）小算B：指 1.7（非 1.2） 中国B：指 0.7（非 0.5） 中数B：指 1.4（非 0.4）</li> </ul>

## 【参考】通塾との関係について

項目	指標	結果
通塾状況 【児童生徒質問紙】	回答ごとの割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国でも、三重県でも、通塾している児童生徒（小 52%（全国 47%）、中 68%（全国 61%））のうち、小中学校とも、学校の勉強で分からなかった内容を勉強している割合（15%前後）より、学校の勉強より難しい内容を勉強している割合（小：約半数、中：約 1/3）の方が多い。（なお、三重県では、全国に比べ、僅差ではあるが、小学校では分からない内容、中学校では難しい内容の割合が多い。）</li> <li>・通塾している場合、<u>難しい内容を勉強しているときや、中学数学等で、平均正答率が高い傾向。</u></li> </ul>

## (5) 日本語指導が必要な児童生徒の在籍数との関係について

項目	指標	結果
日本語指導が必要な児童生徒	在籍数と平均正答率、学校質問紙の回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語指導が必要な児童生徒の<u>在籍数と平均正答率との間には明確な関係性は見られない。</u></li> <li>・なお、平均正答率の高い学校では、読書指導、地域による学校支援、家庭学習指導、体験を通じた授業、言語活動などの取組が、学校全体で行われている傾向。 （前出 P. 37、P. 80 参照）</li> </ul>

(6) 自校採点の取組について

項目	指標	結果
全国学力・学習状況調査の自校分析結果に係る学校全体での活用【学校質問紙】	肯定的な回答と平均正答率	・自校採点実施校は、大幅に増加（H26：約5割→H27：約9割）。小中学校ともに、対象学年・教科だけでなく学校全体で活用している割合が高くなっており（小学校でも全国平均を上回った）、 <u>全教科で、平均正答率との関係も強く見られる傾向。</u>

(7) あきらめずに取り組むこととの関係について

項目	指標	結果
文章で解答する問題（国語）や、言葉や数式を使ってわけや求め方を書く問題（算数・数学）に、どのように解答したか【児童生徒質問紙】	肯定的回答の割合の全国平均との差  (参考) 選択肢概要 1 全問最後まで努力 2 途中であきらめた 3 まったく解答せず	・校種、教科に関わらず、 <u>最後まで解答しよう</u> と努力した児童生徒の割合が増加し、 <u>全国平均との差の改善が大きい傾向。</u>  (例) 小国：1.9 H26：74.7(全国差 -1.4) H27：78.2(全国差 0.5) 中数：3.7 H26：56.8(全国差 -0.9) H27：54.1(全国差 2.8)

## 2 家庭・地域との関わり

(1) 学校質問紙調査結果の公表について

項目	指標	結果
学校質問紙調査結果の公表	公表校と未公表校での全国平均との差	・公表校（H26：約3割）のうち、 <u>小学校では、全国平均との差の改善が見られる傾向。</u>  (例) 小国B：公 3.2 (未 3.1) 小算A：公 1.9 (未 1.6) 中国A：公-0.2 (未 0.8)

(2) コミュニティ・スクール、学校支援地域本部との関係について

コミュニティ・スクールと学校支援地域本部については、地方創生のために、地域とともにある学校づくりはもとより、学校を核とした地域づくりに向けて、学力向上を含む、多面的な機能の発揮が期待されています。

全国の平均正答率との差に係る経年変化からは、コミュニティ・スクール、学校支援地域本部のいずれについても、特に小学校で着実に成果をあげている傾向がうかがえる一方、今後、国による制度変更・支援策拡充に係る動向も踏まえながら、中学校（区）に着目した推進策も検討していく必要があります。

項目	指標	結果
保護者や地域住民への調査結果の公表 【学校質問紙】	指定校と指定校以外での学校質問紙への回答	・小中学校とも指定校が <u>大きく上回っている</u> （なお、伸び率も同様）。 小 指定校 51.3% 非指定校 25.7% 中 指定校 46.7% 非指定校 24.7%
保護者や地域住民への調査結果を踏まえた 学力向上の働きかけ 【学校質問紙】	同上	・小中学校とも指定校が <u>大きく上回っている</u> （なお、伸び率も同様）。 小 指定校 33.3% 非指定校 14.9% 中 指定校 20.0% 非指定校 11.6%
学校支援ボランティアの仕組みによる保護者や地域住民が教育活動への参加 【学校質問紙】	同上	・小中学校とも指定校が <u>大きく上回っている</u> （なお、伸び率も同様）。 小 指定校 71.8% 非指定校 33.4% 中 指定校 26.7% 非指定校 23.3%

### （3）宿題の出し方について

項目	指標	結果
家庭学習の仕方 （計画的、宿題、予習、復習） 【児童生徒質問紙】	肯定的な回答と平均正答率	・全国、三重県ともに、校種、教科に関わらず、 <u>肯定的な回答を行っている児童生徒ほど、全教科で、平均正答率が高い傾向</u> 。
家庭学習の課題（宿題）の出し方 【学校質問紙】	同上	・全国の小中学校では、下記のいずれについても、肯定的な回答を行った学校では、平均正答率が高い傾向（ただし、中学校では一部、関係性がやや弱いものもある）。 ①宿題をよく与えた。 ②与えた宿題について、評価・指導を行った。 ③保護者に対して、家庭学習を促すよう働きかけを行った。 ④宿題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った。 ⑤調べたり文章を書いたりする宿題を与えた。

		<p>⑥家庭学習の方法を、具体例を挙げながら教えた。</p> <p>・三重県でも、<u>小学校では、③を除き基本的に関連性が見られるが、中学校では全般的に、平均正答率との関連が大きくない傾向。</u></p>
--	--	--

(4) 生活習慣・読書習慣チェックシートの取組について

項目	指標	結果
チェックシート実施	実施校と未実施校での全国平均正答率との差	<p>・実施校（H26：約8割）のうち、<u>小学校では、全教科で、全国平均との差の改善が大きい傾向。</u></p> <p>（例）小国B：実0.50（未-0.36）                      小算A：実0.51（未-1.09）                      中国A：実-0.12（未0.01）</p>

(5) 就学援助を受けている児童生徒の在籍割合との関係について

項目	指標	結果
就学援助を受けている児童生徒	在籍割合と平均正答率、学校質問紙の回答	<p>・就学援助を受けている児童生徒の<u>在籍割合と平均正答率との間には明確な関係性は見られない。</u></p> <p>・ただし、就学援助を受けている児童生徒の割合が高い学校は、各校の平均正答率のばらつきが見られ、平均正答率の高い学校では、校内研修、言語活動、学習規律、ICT利活用、放課後等の学習サポートなどの取組が、学校全体で行われている傾向。</p> <p>（前出P.35、P.78参照）</p>

《児童生徒質問紙》

※「みえの学力向上県民運動」開始（H24）以前の直近の悉皆調査（H21）、H26年及びH27年の調査を比較。  
 ※表中の矢印は、三重県の割合の変位、及び「全国との差」の変位を表し、↑は「改善・上昇」を、→は「変動なし」を、↓は「下降」を表す。また、児童生徒質問紙⑩、⑫、⑬については、↓は「改善・上昇」を、↑は「下降」を表す。  
 ※表中のA・B・Cは、「全国との差」の変位を表し、Aは「改善・上昇」を、Bは「変動なし」、Cは「下降」を示す。  
 ※表中の+・-は、三重県の割合の変位を表し、+は「改善・上昇」を、-は「下降」を表す。  
 ※表中の○は、上記に示した「A、B、C」及び「+、-」の数値が±5ポイント以上離れていることを表す。  
 ※表中の網かけは、平成21年度の質問紙に同じ質問項目がなかったものである。

■ 小学校 ■

質問項目		H21	H21→H26	H26	H26→H27	H27	H26→H27	H21→H27
① 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。将来の夢や目標を持ち、難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する	三重県			80.6	↑	81.0	+	
	全国			80.9		81.5		
	全国との差			-0.3	↓	-0.5	C	
② 自分には、よいところがあると思う	三重県	75.1	↑	75.7	↓	75.1	-	→
	全国	74.6		76.1		76.4		C
	全国との差	0.5	↓	-0.4	↓	-1.3		↓
③ 基本的な生活習慣を身につけた子どもたちの割合（朝食を毎日食べている・毎日、同じくらしい時刻に起床就寝している）	三重県	87.2	↑	88.3	→	88.3		↑
	全国	87.1		88.7		88.7		C
	全国との差	0.1	↓	-0.4	→	-0.4	B	↓
④ 家で、自分で計画を立てて勉強している	三重県	51.5	↑	59.4	↑	60.5	+	↑
	全国	54.7		61.0		62.8		A
	全国との差	-3.2	↑	-1.6	↓	-2.3	C	↑
⑤ 家で、学校の宿題をしている	三重県	96.1	↑	97.3	→	97.3		↑
	全国	95.5		96.5		96.8		C
	全国との差	0.6	↑	0.8	↓	0.5		↓
⑥ 家で、学校の授業の予習をしている	三重県	33.9	↑	42.0	→	42.0		↑
	全国	37.5		43.2		43.4		A
	全国との差	-3.6	↑	-1.2	↓	-1.4	C	↑
⑦ 家で、学校の授業の復習をしている	三重県	39.1	↑	48.7	↑	50.1	+	↑
	全国	46.0		54.0		54.5		A
	全国との差	-6.9	↑	-5.3	↑	-4.4	A	↑
⑧ 学校図書館・室や地域の図書館の利用（月1回以上）	三重県	39.8	↑	42.1	↓	40.0	-	↑
	全国	42.5		42.9		40.7		A
	全国との差	-2.7	↑	-0.8	↑	-0.7	A	↑
⑨ 家の人の学校行事への参観等	三重県			97.4	↑	97.6	+	
	全国			96.5		96.6		A
	全国との差			0.9	↑	1.0		
⑩ 地域行事への参加	三重県	65.7	↑	73.2	↓	72.0	-	↑
	全国	62.4		68.0		66.9		A
	全国との差	3.3	↑	5.2	↓	5.1	C	↑
⑪ 平日のテレビ等の視聴（3時間以上）	三重県	47.1	↓	38.4	↓	35.8	+	↓
	全国	45.7		38.0		36.1		A
	全国との差	1.4	↓	0.4	↓	-0.3	A	↓
⑫ 平日のテレビゲーム等使用時間（スマホのゲームを含む）（3時間以上）	三重県	13.0	↑	18.8	↓	18.2	+	↑
	全国	11.6		17.0		17.0		A
	全国との差	1.4	↑	1.8	↓	1.2	A	↓
⑬ 平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用（3時間以上）	三重県	4.0	↑	5.6	↑	6.3	-	↑
	全国	3.4		5.0		5.7		B
	全国との差	0.6	→	0.6	→	0.6	B	→
⑭ 平日の学習時間（1時間以上）	三重県	55.4	↑	59.4	↓	58.4	-	↑
	全国	57.2		62.0		62.7		C
	全国との差	-1.8	↓	-2.6	↓	-4.3		↓
⑮ 休みの日の学習時間（3時間以上）	三重県	8.8	↑	9.0	→	9.0		↑
	全国	11.3		11.5		11.9		C
	全国との差	-2.5	→	-2.5	↓	-2.9	C	↓
⑯ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	三重県	94.7	↑	96.3	↑	96.5	+	↑
	全国	94.9		96.4		96.2		A
	全国との差	-0.2	↑	-0.1	↑	0.3	A	↑
⑰ 「総合的な学習の時間」での自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動	三重県			53.3	↑	54.5	+	
	全国			63.8		65.8		C
	全国との差			-10.5	↓	-11.3		
⑱ 授業のはじめに目標（めあて・ねらい）の提示	三重県			75.7	↑	83.0		
	全国			82.0		86.3		A
	全国との差			-6.3	↑	-3.3		
⑲ 授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県			67.1	↑	71.4	+	
	全国			71.9		75.3		A
	全国との差			-4.8	↑	-3.9		
⑳ 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする	三重県	52.0	↑	56.6	↑	60.3	+	↑
	全国	56.0		61.4		65.2		C
	全国との差	-4.0	↓	-4.8	↓	-4.9		↓

第10章 学力向上に向けた施策取組結果等の状況

■ ■ 中学校 ■ ■

	質問項目		H21	H21→H26	H26	H26→H27	H27	H26→H27	H21→H27
①	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。将来の夢や目標を持ち、難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する	三重県			70.6	↗	70.7	+	C
		全国			69.7		70.3		
		全国との差			0.9	↘	0.4		
②	自分には、よいところがあると思う	三重県	63.0	↗	69.1	↗	69.4	+	↗
		全国	61.2		67.1		68.1		
		全国との差	1.8	↗	2.0	↘	1.3		
③	基本的な生活習慣を身につけた子どもたちの割合（朝食を毎日食べている・毎日、同じくらいの時刻に起床就寝している）	三重県	84.0	↗	86.9	↘	86.8	-	↗
		全国	84.2		86.6		86.9		
		全国との差	-0.2	↗	0.3	↘	-0.1		
④	家で、自分で計画を立てて勉強している	三重県	36.8	↗	47.3	↗	51.0	+	↗
		全国	37.9		46.6		48.8		
		全国との差	-1.1	↗	0.7	↗	2.2		
⑤	家で、学校の宿題をしている	三重県	80.9	↗	87.7	↗	90.9	+	↗
		全国	83.0		88.2		89.3		
		全国との差	-2.1	↗	-0.5	↗	1.6		
⑥	家で、学校の授業の予習をしている	三重県	29.0	↗	34.6	↗	37.4	+	↗
		全国	29.5		34.2		35.3		
		全国との差	-0.5	↗	0.4	↗	2.1		
⑦	家で、学校の授業の復習をしている	三重県	33.7	↗	45.5	↗	48.9	+	↗
		全国	40.5		50.4		52.0		
		全国との差	-6.8	↗	-4.9	↗	-3.1		
⑧	学校図書館・室や地域の図書館の利用（月1回以上）	三重県	17.5	↗	18.4	↘	17.4	-	↘
		全国	18.4		18.9		19.6		
		全国との差	-0.9	↗	-0.5	↘	-2.2		
⑨	家の人の学校行事への参観等	三重県			78.8	↗	78.9	+	
		全国			83.1		83.4		
		全国との差			-4.3	↘	-4.5		
⑩	地域行事への参加	三重県	43.6	↗	50.4	↗	50.7	+	↗
		全国	37.8		43.5		44.8		
		全国との差	5.8	↗	6.9	↘	5.9		
⑪	平日のテレビ等の視聴（3時間以上）	三重県	42.1	↘	35.2	↘	32.4	+	↘
		全国	38.0		31.5		30.5		
		全国との差	4.1	↘	3.7	↘	1.9		
⑫	平日のテレビゲーム等使用時間（スマホのゲームを含む）（3時間以上）	三重県	13.1	↗	24.0	↘	22.9	+	↗
		全国	10.4		20.3		20.5		
		全国との差	2.7	↗	3.7	↘	2.4		
⑬	平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用（3時間以上）	三重県	10.2	↗	24.5	↘	21.5	+	↗
		全国	8.6		19.8		18.2		
		全国との差	1.6	↗	4.7	↘	3.3		
⑭	平日の学習時間（1時間以上）	三重県	64.6	↘	64.4	↗	66.5	+	↗
		全国	65.3		67.9		69.0		
		全国との差	-0.7	↘	-3.5	↗	-2.5		
⑮	休みの日の学習時間（3時間以上）	三重県	11.2	↗	12.6	↗	12.9	+	↗
		全国	15.4		16.9		17.7		
		全国との差	-4.2	↘	-4.3	↘	-4.8		
⑯	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	三重県	89.8	↗	92.8	↗	93.9	+	↗
		全国	90.3		93.4		93.7		
		全国との差	-0.5	↘	-0.6	↗	0.2		
⑰	「総合的な学習の時間」での自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動	三重県			46.2	↗	48.9	+	
		全国			54.8		58.0		
		全国との差			-8.6	↘	-9.1		
⑱	授業のはじめに目標（めあて・ねらい）の提示	三重県			62.1	↗	75.5	⊕	
		全国			71.5		79.7		
		全国との差			-9.4	↗	-4.2		
⑲	授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県			51.4	↗	58.3	⊕	
		全国			53.3		59.3		
		全国との差			-1.9	↗	-1.0		
⑳	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする	三重県	39.6	↗	53.2	↗	55.1	+	↗
		全国	41.8		56.1		59.2		
		全国との差	-2.2	↘	-2.9	↘	-4.1		



《学校質問紙》

■ ■ 小学校 ■ ■

	質問項目		H21	H21→H26	H26	H26→H27	H27	H26→H27	H21→H27
①	前年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用	三重県	72.0	↗	92.9	↗	98.1	⊕ A	↗ ⊕
		全国	83.5		93.6		95.8		
		全国との差	-11.5	↗	-0.7	↗	2.3		
②	対象児童に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に実施(学期に数回以上)	三重県	69.8	↗	77.2	↗	81.8	+	↗ ⊕
		全国	77.8		80.5		82.6		
		全国との差	-8.0	↗	-3.3	↗	-0.8		
③	対象児童に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施(「週に2回以上」)	三重県	15.9	↗	18.9	↗	22.7	+	↗ ⊕
		全国	14.2		17.5		17.7		
		全国との差	1.7	↘	1.4	↗	5.0		
④	校長の授業の見回り(週に2日以上)	三重県	65.1	↗	84.5	↗	95.4	⊕ ⊕	↗ ⊕
		全国	81.5		91.6		93.1		
		全国との差	-16.4	↗	-7.1	↗	2.3		

■ ■ 中学校 ■ ■

	質問項目		H21	H21→H26	H26	H26→H27	H27	H26→H27	H21→H27
①	前年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用	三重県	71.5	↗	91.4	↗	94.4	+	↗ ⊕
		全国	78.7		90.4		93.2		
		全国との差	-7.2	↗	1.0	↗	1.2		
②	対象生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に実施(学期に数回以上)	三重県	35.2	↗	39.5	↗	44.7	⊕ A	↗ ⊕
		全国	47.6		42.2		44.9		
		全国との差	-12.4	↗	-2.7	↗	-0.2		
③	対象生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施(「週に2回以上」)	三重県	12.1	↘	11.8	↗	13.7	+	↗ +
		全国	13.6		14.1		14.9		
		全国との差	-1.5	↘	-2.3	↗	-1.2		
④	校長の授業の見回り(週に2日以上)	三重県	53.3	↗	69.2	↗	81.4	⊕ ⊕	↗ ⊕
		全国	68.3		79.3		81.4		
		全国との差	-15.0	↗	-10.1	↗	0.0		

■ ■ 小学校 ■ ■

	質問項目		H21	H21→H26	H26	H26→H27	H27	H26→H27	H21→H27
①	授業のはじめに目標(めあて・ねらい)の提示	三重県			91.3	↗	97.8	⊕ ⊕	
		全国			96.9		98.1		
		全国との差			-5.6	↗	-0.3		
②	授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県			76.3	↗	89.9	⊕ ⊕	
		全国			91.6		93.9		
		全国との差			-15.3	↗	-4.0		

■ ■ 中学校 ■ ■

	質問項目		H21	H21→H26	H26	H26→H27	H27	H26→H27	H21→H27
①	授業のはじめに目標(めあて・ねらい)の提示	三重県			88.3	↘	87.6	-	
		全国			94.0		95.7		
		全国との差			-5.7	↘	-8.1		
②	授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県			84.5	↗	87.5	+	
		全国			89.2		90.9		
		全国との差			-4.7	↗	-3.4		

3

関係事業における取組状況

全国学力・学習状況調査は4月に実施されることから、教科に関する調査では前年度までの学習状況を、質問紙調査では前年度の取組状況をまとめています。このことから、平成27年度調査では平成26年度の取組を検証することになります。

平成26年度学力向上に向けた指導体制確立支援事業について

【関連：第10章P.123】

児童生徒の学力向上を図るため、全国学力・学習状況調査の活用に係る市町の取組への支援を行うとともに、県教育委員会の指導主事や学力向上アドバイザーを学力の定着に課題を抱え、主体的に課題改善に取り組む実践推進校（小学校70校、中学校30校）へ派遣するなどし、取組を支援してきました。

平均正答率について

全国と実践推進校の4教科の平均正答率の合計の差による検証を行いました。

	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
H26→H27	○	○	○	◎	○	◎	◎	◎

◎…全国と実践推進校との差が改善されており、非実践推進校よりも改善幅が大きい。

○…全国と実践推進校との差が改善されているが、非実践推進校よりは改善幅が小さい。

＋…全国と実践推進校との差が改善されており、非実践推進校と改善幅が同じ。

学校質問紙について

平成26年度の1年間の取組に対して、肯定的な回答をした割合の増減の変化から、実践推進校が特に力を入れてきたと考えられる取組や指導状況は、次のようになります。

<小学校>

(40)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか			
		H26	H27	
		推進校	79.7%	
		H26	H27	
		推進校	79.7%	89.9%
		推進校以外	83.3%	87.2%
(108)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか			
		H26	H27	
		推進校	82.6%	
		H26	H27	
		推進校	82.6%	92.8%
		推進校以外	88.1%	88.1%
(109)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか			
		H26	H27	
		推進校	78.3%	
		H26	H27	
		推進校	78.3%	88.4%
		推進校以外	84.6%	88.8%

<中学校>

(28)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）			
		H26		H27
	推進校	60.0%		80.0%
(81)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか			
		H26		H27
	推進校	10.0%		23.3%
(89)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか			
		H26		H27
	推進校	90.0%		96.7%
	推進校以外	95.5%	91.6%	

分析結果

- 各教科の平均正答率では、小中学校ともに、課題を抱えるところが少なくない中、全ての教科で全国との差が縮まり、改善が見られ、特に算数B、数学Bで改善が大きいことがわかります。
- 小学校では、国語以外の教科等においても学校全体として言語活動の充実を図るとともに、自分で調べたことや考えたことをわかりやすく文章に書かせる指導を行っている割合が高い状況です。
- 中学校ではそれに加えて補充的なサポートや家庭学習の充実が図られています。

改善ポイントなど

- 小学校における算数の基礎的・基本的な知識・技能の習得には、国語科の中での言語活動の充実や家庭学習の充実において見直しをしていくことで、さらなる学力向上が期待できます。
- 中学校では、国語科において様々な文章を深く読み、思考を深め、書いたり発表したりする学習活動を充実させていくことで、さらなる学力向上が期待できます。
- 少人数教育のよりよい在り方を研究し、実践することで、さらなる学力向上が期待できます。

平成26年度地域と協働する学校運営支援事業について

【関連：第10章P.124～】

社会全体で子どもを育てるという視点を重視し、学校・家庭・地域が一体となって課題を共有し、保護者や地域住民等による学校運営や教育活動への積極的な参画を進めるため、市町等教育委員会と連携し、公立小中学校へのコミュニティ・スクール等の導入を進めてきました。

平均正答率について

平成26年度までにコミュニティ・スクールに指定されている学校（小学校39校、中学校15校）の結果を分析しました。

平成21年度当時の教科に関する調査の結果と比較して、おおむね向上している状況です。

	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
H25→H26	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
H26→H27	○	○	○	×	◎	×	×	×
H21→H27	×	◎	○	○	◎	◎	◎	○

- ◎…全国と指定校との差が改善されており、非指定校よりも改善幅が大きい。
- …全国と指定校との差が改善されているが、非指定校よりは改善幅が小さい。
- ×…全国と指定校との差が改善されておらず、非指定校より改善幅が小さい。

学校質問紙について

<小学校>

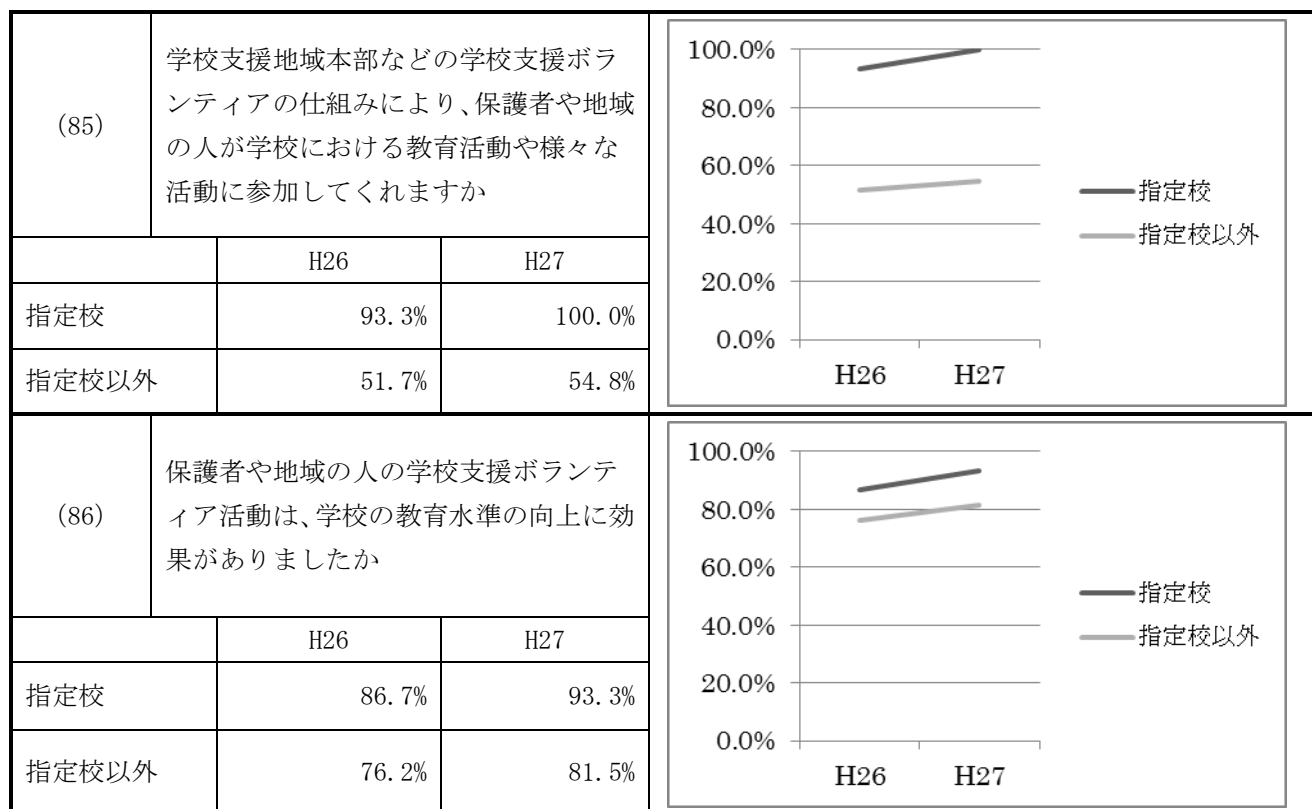
地域との連携に関する質問項目は、指定校は非常に高い位置で推移しています。

(52)	平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)			
		H26	H27	
	指定校	87.2%	100.0%	
指定校以外	77.8%	96.1%		
(53)	平成26年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか			
		H26	H27	
	指定校	84.6%	97.4%	
指定校以外	80.4%	91.3%		

(87)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人々が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	100.0% 80.0% 60.0% 40.0% 20.0% 0.0%		
		H26	H27	
		指定校	100.0%	
指定校以外	80.7%	80.3%		
(88)	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	100.0% 80.0% 60.0% 40.0% 20.0% 0.0%		
		H26	H27	
		指定校	97.4%	
指定校以外	90.4%	94.9%		

<中学校>

(52)	平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	100.0% 80.0% 60.0% 40.0% 20.0% 0.0%		
		H26	H27	
		指定校	86.7%	
指定校以外	75.5%	95.2%		
(53)	平成26年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	100.0% 80.0% 60.0% 40.0% 20.0% 0.0%		
		H26	H27	
		指定校	60.0%	
指定校以外	72.1%	79.5%		



### 分析結果

- ・コミュニティ・スクールに指定されている学校では、ほぼ全ての教科で全国の平均正答率との差が改善されており、小学校国語B、中学校国語A・B、数学Aでは、非指定校を上回っています。
- ・指定校では、保護者や地域住民と子どもたちの抱える課題等を共有し、三者が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」が推進されています。また、保護者や地域住民が学校運営に参画することにより、地域との連携・協働体制が構築され、子どもたちの豊かな育ちが実現しています。

### 改善ポイントなど

- ・これからの学校では、学校運営に保護者や地域住民等が参画することを通じて、学校・家庭・地域の関係者が目標やビジョンを共有し、学校の教育方針の決定や教育活動の実践に、地域のニーズを反映させるとともに、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進めていくことが求められています。
- ・まずは、コミュニティ・スクールに比べて導入しやすい学校支援地域本部の取組を拡大する中で、学習意欲や学力の向上を図りながら、段階的にコミュニティ・スクールへと発展させるなど、学校・家庭・地域の三者が協働して子どもの教育環境を充実させていく必要があります。

平成26年度地域による学力向上支援事業について

【関連：第10章P.124～】

大学生や教員OB等地域住民がその知識・技能を活用し、教科指導の補助を行う等、学校支援地域本部の仕組みを導入した地域による学力向上の支援体制を構築してきました。

平均正答率について

平成26年度に学校支援地域本部を設置している学校の調査結果を分析しました。

学校支援地域本部設置校：小学校 148校、中学校 50校（平成27年3月31日現在）

	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
H25→H26	×	◎	◎	○	○	×	○	○
H26→H27	◎	◎	○	◎	◎	◎	—	◎
H21→H27	◎	◎	○	◎	◎	×	×	×

- ◎…全国と設置校との差が改善されており、非設置校よりも改善幅が大きい。
- …全国と設置校との差が改善されているが、非設置校よりは改善幅が小さい。
- ×…全国と設置校との差が改善されておらず、非設置校より改善幅が小さい。
- …全国と設置校との差が改善されておらず、非設置校と全国との差が同じ。

学校質問紙について

<小学校>

(52)	平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか (学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)					
					H26	H27
	設置校				82.4%	98.6%
非設置校		76.4%	95.1%			
(53)	平成26年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか					
					H26	H27
	設置校				83.8%	93.9%
非設置校		79.0%	90.7%			



(82)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか			
		H26		H27
	設置校	48.6%		50.0%
非設置校	27.9%	31.0%		
(88)	保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか			
		H26		H27
	設置校	93.2%		98.0%
非設置校	89.7%	93.8%		

<中学校>

(52)	平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか (学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)			
	中学校	H26		H27
	設置校	86.0%		98.0%
非設置校	72.3%	94.6%		
(53)	平成26年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか			
	中学校	H26		H27
	設置校	76.0%		90.0%
非設置校	68.8%	76.6%		

(81)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか		
	中学校		
	設置校	H26: 26.0% H27: 30.0%	
非設置校	H26: 16.1% H27: 15.3%		
(86)	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか		
	中学校		
	設置校	H26: 84.0% H27: 86.0%	
非設置校	H26: 74.1% H27: 81.1%		

### 分析結果

- ・学校支援地域本部を設置している小学校では、全ての教科で全国の平均正答率との差が改善されていますが、中学校では、国語A以外の教科で、全国の平均正答率との差が広がっています。
- ・全国学力・学習状況調査の結果から見られる子どもたちの強みや弱みを保護者や地域住民と共有し、学力向上のための働きかけを行っている学校が増加しており、いずれも設置校が非設置校を上回っています。

### 改善ポイントなど

- ・ボランティア等の授業サポートを行っている学校は増加傾向にあります。多くの学校が、学校支援ボランティアの活用が学校の教育水準の向上に効果があることを実感しています。子どもたちの学びと育ちを支えるため、学校の教育活動を組織的に支援するとともに、地域の教育資源を組織化・ネットワーク化する仕組みを構築することが大切です。
- ・小学校に比べ、中学校への学習支援はまだまだ少ない状況にあります。今後、大学生や教員OBなど地域住民の協力による学習の遅れがちな中学生等を対象とした学習支援「地域未来塾」等、中学生に対する学習支援の充実を図る必要があります。

平成26年度子ども支援ネットワーク構築事業について

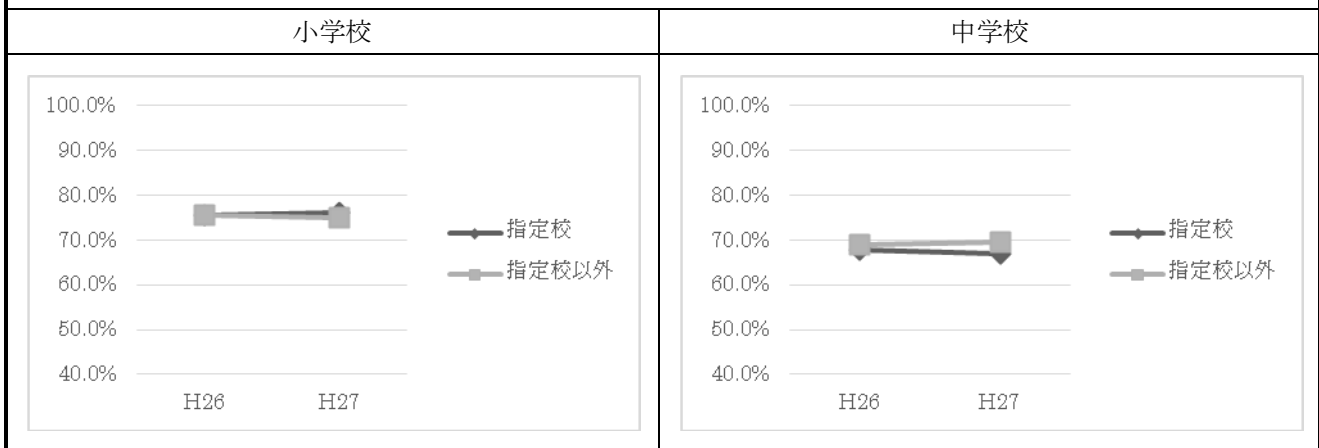
【関連：第1章P.9、  
第4章P.46～、第7章P.88～】

平成24年度より、毎年10中学校区程度を指定し、教育的に不利な環境のもとにある子どもの自尊感情や学習意欲が高まるよう、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの学びを支援する「子ども支援ネットワーク」の構築に取り組んできました。

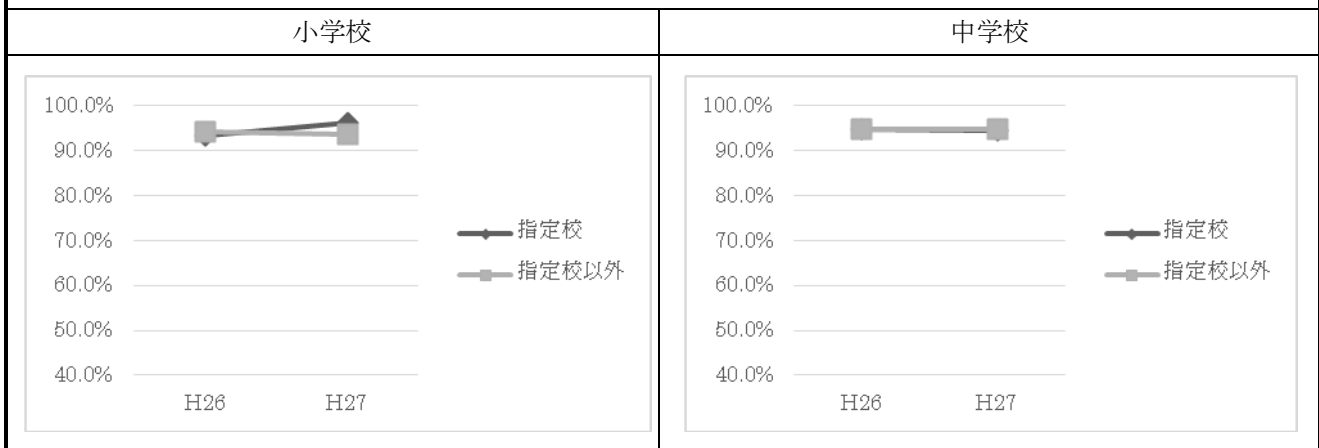
平成26年度の11指定中学校区（小学校32校、中学校11校）について、関連する質問紙の結果を分析しました。

児童・生徒質問紙について

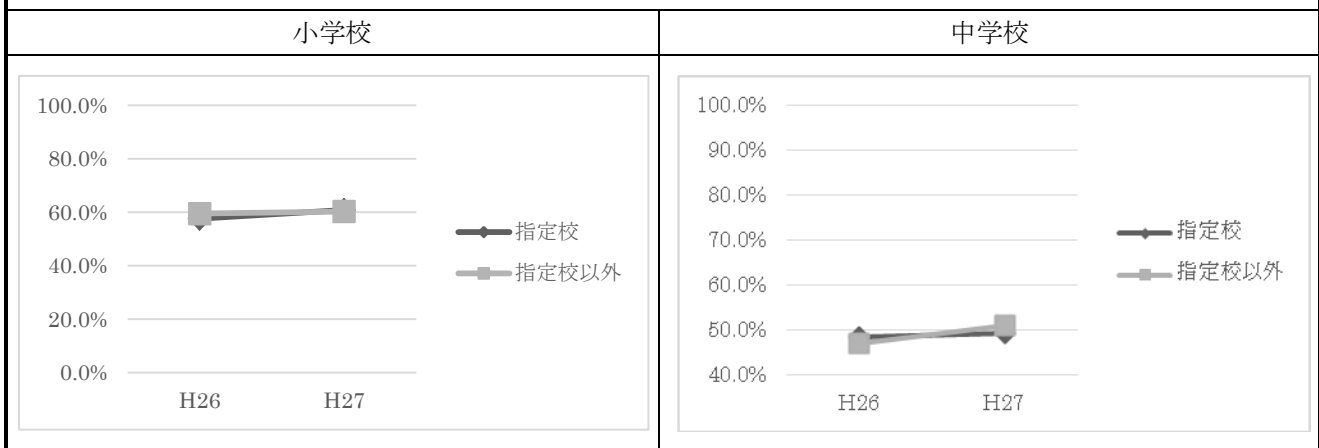
【児童生徒質問番号（6）】自分には、よいところがあると思いますか。

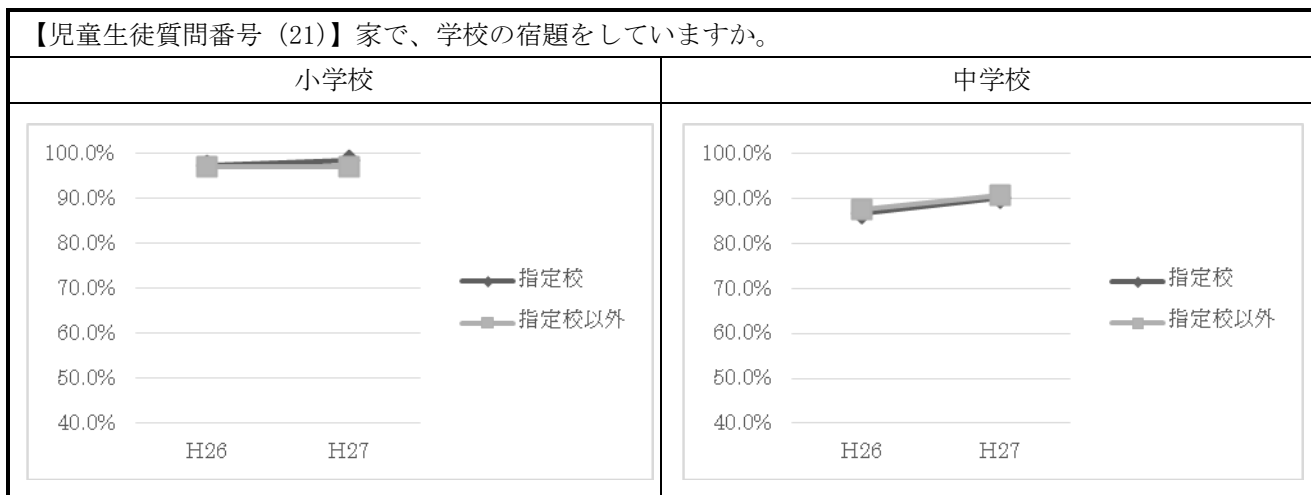


【児童生徒質問番号（33）】人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。



【児童生徒質問番号（20）】家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。





### 分析結果

- ・自尊感情は、主に小学校において高まっています。
- ・学習意欲は小学校、中学校ともに向上の傾向が見られます。
- ・家で宿題を「している」「どちらかといえば、している」と答えた児童・生徒の割合は、小学校、中学校とも指定校のほうが非指定校よりも伸びています。
- ・学校・家庭・地域の連携により、確実に学習支援がなされています。

### 改善ポイントなど

- ・中学校において自尊感情を高めていく取組の深化が必要です。中学生の自尊感情は教科学習と切り離すことはできません。教科学習において、「わかった」「できた」という体験を増やしていくことも大切です。
- ・キャリア教育を前面に出して、あいさつやマナー、人前で自分の考えを伝えることなど、社会生活を送るうえで大切な力を高めていく活動も有効です。

平成26年度いじめを許さない「絆」プロジェクト事業について

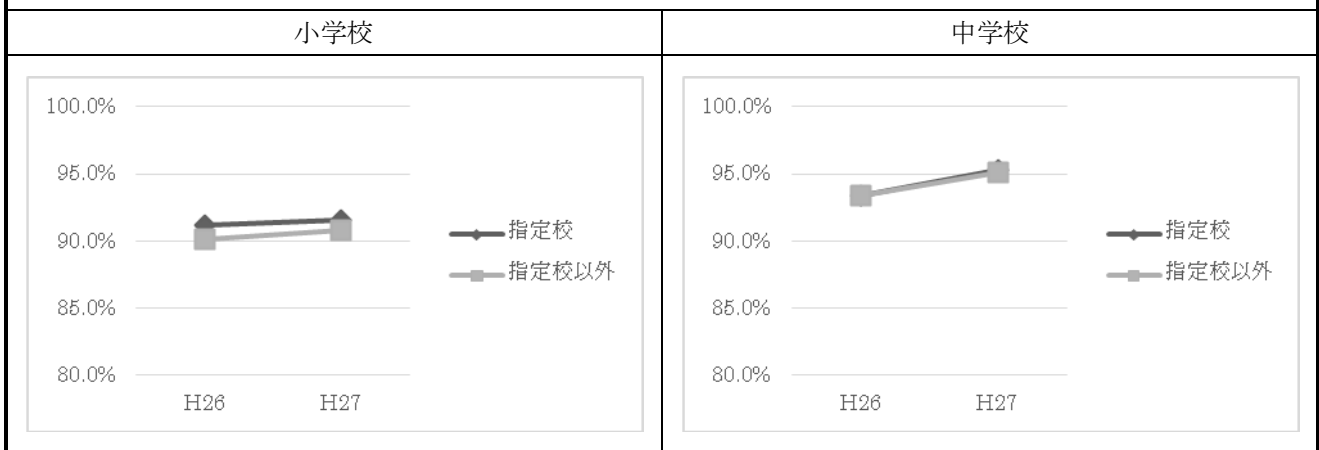
【関連：第4章P.45～、第7章P.87～】

県内29市町の課題克服のモデルになりうる29中学校区の小中学校を指定校として、子どもたちが自らつながり合い、問題を解決していく力を育成し、いじめや暴力のない安全・安心な学校づくりに取り組んできました。

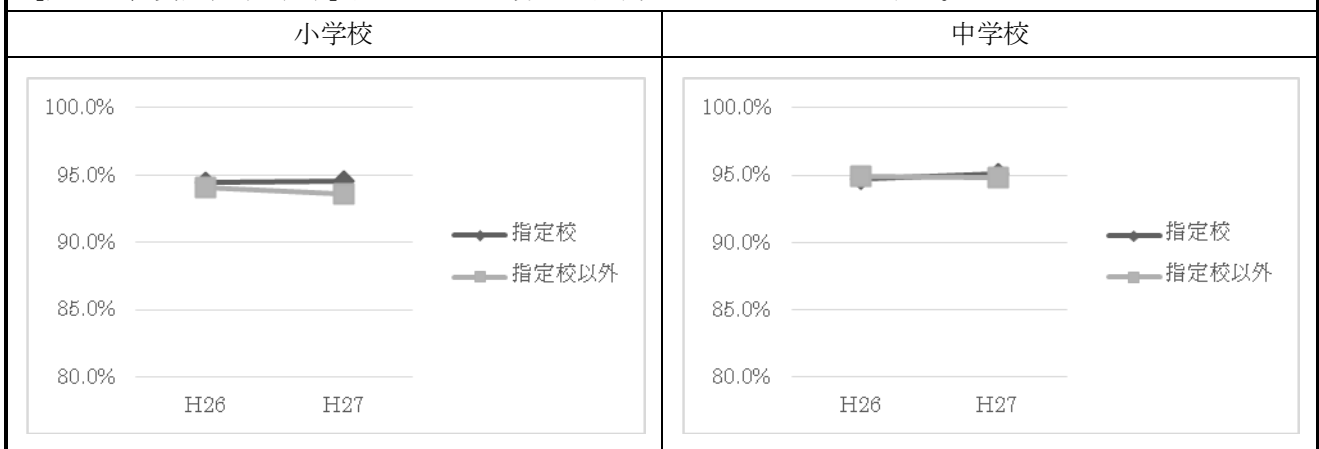
平成26年度の29中学校区(小学校79校、中学校29校)の結果を分析しました。

児童・生徒質問紙について

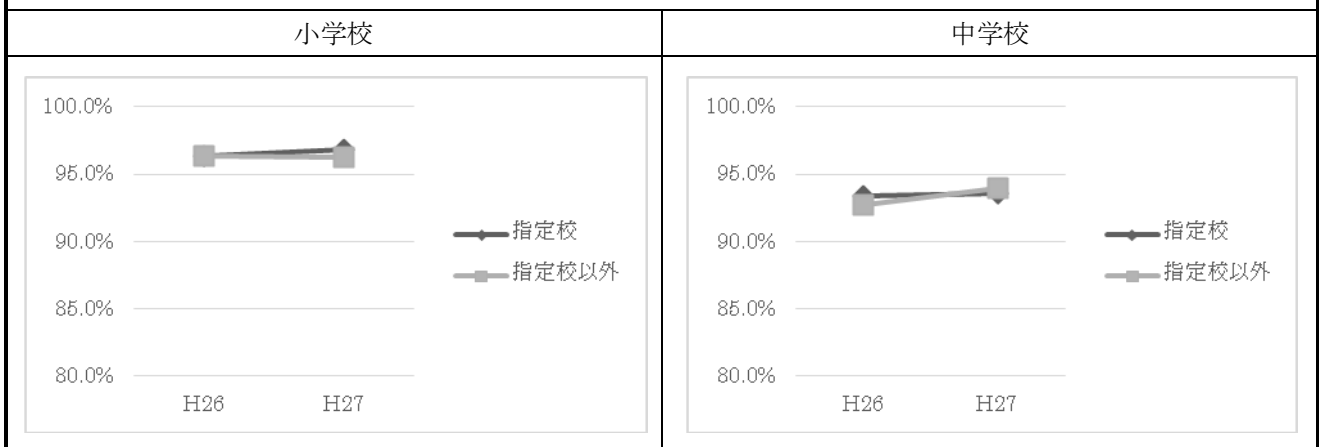
【児童生徒質問番号(32)】学校のきまりを守っていますか。



【児童生徒質問番号(33)】人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。



【児童生徒質問番号(34)】いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



### 分析結果

- ・指定校では全ての項目において小学校、中学校ともに昨年度より高い状況が見られ、100%に近づいています。
- ・児童生徒の規範意識等が向上しています。特に、「いじめはいけない」という意識の醸成に効果がありました。
- ・指定校では各質問90%を超える高い肯定的な回答の割合の中でさらに向上しています。一方指定校以外では「(33)人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」に対する肯定的な回答の割合が、小学校、中学校ともごくわずかですが下降しています。

### 改善ポイントなど

- ・児童生徒の意識は改善の方向にあるものの、崩れるときには一気に崩れていく領域ですので、引き続き、落ち着いて授業ができる学校環境をつくっていく必要があります。
- ・学校内・地区内での取組に終わらず、他校・他地区への波及のための動きが期待されます。

### 平成26年度学力向上のための読書活動推進事業について

【関連：第1章P.8】

子どもの学力向上を目的に、図書館司書が配置されておらず読書環境の整備に課題のある学校（6市町11校）をモデル校に指定し、民間事業者への委託により図書館司書を配置し、司書教諭をはじめとした教員に対して学校図書館を活用した授業支援等の読書活動を推進してきました。

平成26年度のモデル校(小学校9校、中学校2校)の結果を分析しました。

### 平均正答率について

#### <小学校>

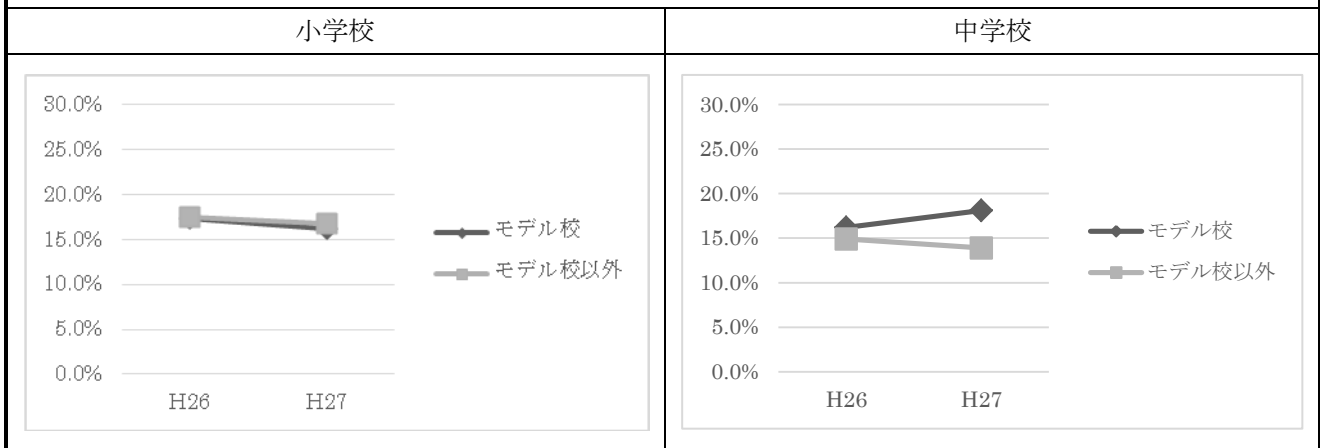
実施年度	国語A			国語B			算数A			算数B		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
モデル校	61.8	66.8	69.3	47.3	49.4	66.3	75.2	74.2	75.1	53.0	54.1	44.3
全国との差	-0.9	-6.1	-0.7	-2.1	-6.1	0.9	-2.0	-3.9	-0.1	-5.4	-4.1	-0.7
モデル校以外	60.3	69.6	68.0	46.6	52.6	65.2	75.9	76.2	74.9	55.4	56.0	44.1
全国との差	-2.4	-3.3	-2.0	-2.8	-2.9	-0.2	-1.3	-1.9	-0.3	-3.0	-2.2	-0.9
三重県	60.3	69.6	68	46.7	52.5	65.3	75.8	76.2	74.8	55.3	56	44.1
全国	62.7	72.9	70	49.4	55.5	65.4	77.2	78.1	75.2	58.4	58.2	45

#### <中学校>

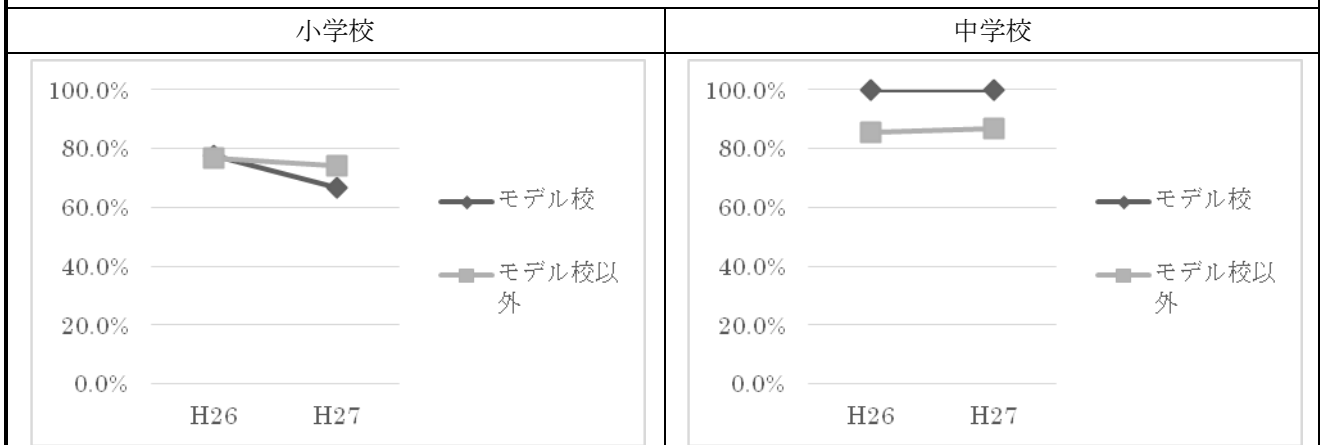
実施年度	国語A			国語B			数学A			数学B		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
モデル校	73.7	76.6	73.4	61.1	46.0	61.0	60.0	67.4	58.9	33.8	56.1	35.2
全国との差	-2.7	-2.8	-2.4	-6.3	-5.0	-4.8	-3.7	0.0	-5.5	-7.7	-3.7	-6.4
モデル校以外	75.1	78.0	75.1	65.9	49.1	64.3	63.3	67.1	64.4	39.4	58.3	40.7
全国との差	-1.3	-1.4	-0.7	-1.5	-1.9	-1.5	-0.4	-0.3	0.0	-2.1	-1.5	-0.9
三重県	75	78	75	65.8	49	64.3	63.2	67.1	64.3	39.3	58.3	40.6
全国	76.4	79.4	75.8	67.4	51	65.8	63.7	67.4	64.4	41.5	59.8	41.6

学校・児童・生徒質問紙について

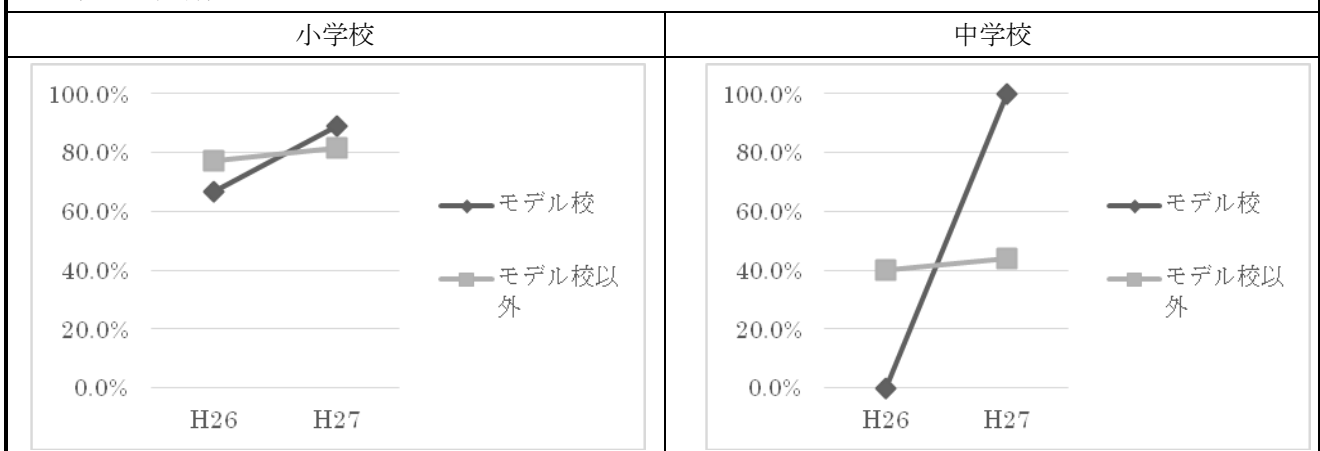
【児童生徒質問番号(16)】学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(「1時間以上」と回答した割合)



【学校質問番号(24)】調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか。(「基本的に毎日行った」「週に複数回、定期的に行った」と回答した割合)



【学校質問番号(25)】調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか。(「週に1回程度、または、それ以上行った」「月に数回程度行った」「学期に数回程度行った」と回答した割合)



分析結果

- ・小学校、中学校とも学校図書館を活用した計画的な授業が大幅に増えています。
- ・小学校では読書指導を授業中心に進めていくことで「朝の読書」を実施する割合が減ったと考えられます。

- ・一方、中学校では、「朝の読書」は、読書そのものの効果だけでなく、落ち着いて朝をスタートするという生徒指導的な側面での実施の意義も強いので、継続して行われています。

#### 改善ポイントなど

- ・司書と教員との連携を強化し、授業の進捗状況に合わせたテーマコーナーやブックトーク、クイズ形式での調べ学習等、授業内容への興味・関心を高めるための取組を継続するとともに、他校への取組拡大も必要です。
- ・図書館司書の勤務日だけに限らず、年間を通じて、児童・生徒が図書館に頻繁に出入りする仕掛けが必要です。  
市町あるいは学校で指定図書を選定する、教員が好きな本、推薦図書等を発信するなどを行っているところもあります。